# おいしい水

豊秋小学校　三年三組　水江　智哉

じゃ口をひねると、いつでもおいしいきれいな水があたり前のように出てきます。

おふろやトイレや洗たくに手洗い、そして食事作り、毎日たくさん水を使って生活していますが、いったいどうやって水ができるのか、とてもきょうみがありました。

調べてみると、山にふった雨や雪からできていることがわかりました。山にふった雨や雪どけ水がダムに、そこから川へ流れる。そしてじょう水場へ、きれいになった水はポンプ場から配水管を通り、水道から水が出てきます。では雨の水はどこからできるのか、それは海の水がじょう発して雲になってできる。ということは海は川とつながっている。

おいしい水を飲むには、海や川の水をよごしてはいけないと思いつきました。油をそのまま流したり、洗ざいをたくさん使うことはぜったいにやめよう。ゴミをすてるのはもっ

てのほかです。

おいしい水が飲めるにはたくさんの人の「きょう力で毎日水が使えています。

山の手入れをしてくれている人、ダムを作るために先ぞ代だいの大切な土地を手ばなしきょう力してくれた人、じょう水場やポンプ場ではたらいてくれている人。水道から水が出るように、水道管をしゅうりしてくれる人数えきれない人たちのおかげです。

ぼくはいつも水が使えているので、水のありがたさをわすれていました。

ハミがキやシャワーでジャージャー水を出しっぱなしにすることはいけないことだと。

「水を出しっぱなしにしないで」

ぼくはいつもお母さんにおこられますが、お母さんがおこる気持ちがわかりました。

家の近くのレストランで食事をしているとこんな会話が聞こえてきました。

「ぐんまけんのお水はおいしいですね。もう一ぱいおかわりいいですか」

その会話を聞き、ぼくは少しうれしくなりました。いつもおいしい水を飲めること。

水はかぎりあるしげんです。みんなで考えくふうをして、水を大切にしていかないといけないと思いました。

大きな工場では、たくさん水を使っていますが、きれいにしてから川へ流しています。かていでも、できることがあるはずです。

今、コロナウイルスのおかげで家にいることが多くなりました。水を使うきかいもたくさんふえている、そしてあつい夏。水がどれほど大切なものか。

おいしい水。みんなをしあわせにするだからものです。